

地方創生・ICT推進対策特別委員会 県外行政調査

1 調査日 令和2年10月13日（火）～14日（水）

2 調査の概要

10月13日（火）

(1) 特定非営利活動法人グリーンバレー（徳島県名西郡神山町）

調査事項：ICTを活用した地方創生やまちづくりについて

（サテライトオフィス誘致、移住支援、神山アーティスト・イン・レジデンス等）

特定非営利活動法人グリーンバレーは、神山町国際交流協会（1992年設立）を前身とする法人であり、2004年に設立され「日本の田舎をステキに変える！」を使命として徳島県神山町にて活動しており、2017年には認定特定非営利活動法人となっている。

また、当法人は、神山アーティスト・イン・レジデンス、サテライトオフィス支援事業、アドプト・ア・ハイウェイ神山（清掃活動をベースとしたまち美化プログラム）、神山町移住支援センター受託管理、森づくりなどの事業を行っているところである。

については、特定非営利活動法人グリーンバレーを訪問し、ICTを活用した地方創生やまちづくりに係る取組について調査を行い、本県における今後の取組の参考とした。



(2) 神山バレー・サテライトオフィス・コンプレックス（徳島県名西郡神山町）

調査事項：ビジネスコミュニティの創出やクリエイティブ産業の集積について

（サテライトオフィス現地視察）

神山バレー・サテライトオフィス・コンプレックスは、閉鎖された元縫製工場を改修したコワーキングスペースであり、新しいビジネスコミュニティを創造し、地域発の先進的なサービスやビジネスを生み出すことを目的としている。

また、情報技術、デザイン、映像関連等のクリエイティブ産業の集積を図るとともに、起業家やその支援者、地域住民等との交流を通して、新たな価値の創出を目指している。

については、神山バレー・サテライトオフィス・コンプレックスを訪問し、ビジネスコミュニティの創出やクリエイティブ産業の集積に係る取組について調査を行い、本県における今後の取組の参考とした。



10月14日（水）

（3） 特定非営利活動法人グリーンバレー（徳島県名西郡神山町）

調査事項：次世代型私立高等専門学校「神山まると高専」について

（設立プロジェクトの経緯、内容等）

高等専門学校は、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とした日本独自の教育機関であり、起業の即戦力となる人材を輩出するとともに、製造業を中心に経済成長を支えてきたが、現在は人工知能（A I）の発展をはじめ産業構造の変化、社会的課題の多様化など、環境が大きく変化する中で、求められる人材も変化してきている。

神山まると高専は、技術習得だけでなく、起業家精神を持った人材を育てる次世代型高専であり、プログラミング・I T・A Iといった最先端技術、心理学・哲学やディベートなど幅広いカリキュラムに加え、地域住民との協働や在学中の起業などを通じて、より実践的な力を身につける探究型学習を行うこととしている。

については、神山まると高専設立準備委員会に参画している特定非営利活動法人グリーンバレーを訪問し、設立プロジェクトの経過や内容等について調査を行い、本県における今後の取組の参考とした。

